

KKSメール 第7号

2014年5月発行

鹿島環境設備(株)
〒211-0041
川崎市中原区下小田中6-9-33
電話044-777-1440 FAX044-788-8117

発行：鹿島環境設備(株)広報HP委員会



大谷戸小学校改築冷暖房 その他設備工事が竣工しました

本工事は、既存小学校の改築工事となるため、敷地内に仮設校舎がある中での工事となりました。全体校舎の建て替えで、東、西、北、体育館、4棟の改築工事です。また、毎朝夕1,000人を超える生徒が登下校するため最大限の配慮を要する工事でもありました。新しい校舎は災害時緊急避難場所としても活用できる様考えられた建物になっています。私は平成13年1月より現場に常駐して作業に携わってきました。寒い日、雪の日、猛暑日、台風、大雨等一年と少しの間には様々な事がありました。中でも建築現場側に向いている仮設校舎の教室の窓には”暑い中熱中症に気を付けてください””夜遅くまでガンバッテくれてありがとうございます””新校舎楽しみにしています”など生徒さんたちからの激励や応援メッセージが貼られ、見るたびに頑張ろうという気持ちになり、建築側の建物にもメッセージを貼り出し生徒さんたちに応える等の交流がありました。又そんな生徒さんたちの旧校舎の思い出づくりの一環として今回校舎を建てる際に伐採した樹木を製材して室内展示場のスリット天井の資材として活用し、製材時に出た破材を卒業生の卒業メッセージアートとして使用するなど普段の建築現場においては、なかなか経験のできない体験をしました。



卒業生の皆さんには新校舎での授業は受けられませんでしたが新しい体育館で送り出すことができました。今は新入生の生徒さん達が私たちが工事で携わった環境の整った新しい教室で勉学にいそしみたくさんの思い出を作っていることでしょう。小学校は一番長く通う学校です。良い思い出がたくさん生まれる校舎になればと願っています。《天野》



発注元：川崎市 設計・監理：川崎市まちづくり局 (株)日総研
受注者：研空・鹿島環境共同企業体
工事場所：川崎市立大谷戸小学校 川崎市中原区上小田中1丁目



こんな会社です♪♪ 「鹿島環境設備株式会社」

鹿島環境設備㈱の業務内容ご存知ですか？『公共工事の会社？』『水道屋さん？』『エアコンやボイラーのメンテナンス会社？』『リフォーム会社？』etc 実は全部正解なんです。お客様によってはひとつの業務内容だけのお付き合いになり、まだまだ本当の鹿島環境設備という会社をご存知ないという方がたくさんいらっしゃいます。そんなお客様に今回は創業42年住環境を考え続けてきた鹿島環境設備の業務内容の一部を紹介させて頂きます。

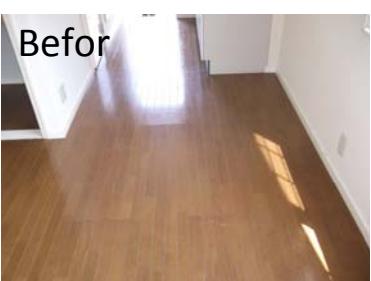


- ・床鳴いがひどい
 - ・クロスを貼替えたい
 - ・エアコンの効きが悪い気がする
 - ・家をリフォームしたい
- ・床板のキズが目立つ
 - ・蛇口類を取替えたい
 - ・トイレが詰った
 - ・建て替えしたい
- ・襖や障子を貼替えたい
 - ・廃材を処分したい
 - ・古くなつて心配
 - ・配管を点検したい
- 等

つまり…「小さな修理」から「大規模な改修」まで、「水廻り」から「空調」「換気」「ガス」「床暖房」等あらゆる住環境の改善のご提供に携わっています。どんなことでも、ご相談くださったお客様と一緒に考え、最善のご提案をしたいと考えております。少しでも当社を知って頂き末永いお付き合いを。これからもどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

パッキン一つのご用命からでもOK！
なんか変えたい…そんな気分でも(・o・)

入退居に伴う床の張替



施工例



襖紙張替

お困りことはいつでもご相談ください！

定期点検等の保守契約（特典あり）も承っております。

社員旅行。。。幹事より

鹿島環境設備㈱へ入社して早7年目？！になります。旅行の幹事をさせて頂いて2年目です。若かりし頃、旅行の幹事をしてからウン十年が経ち…時代も変わり、旅行の形態も様変わりしているようです。ただ変わっていないのは、行先はたいてい自分の行きたい所？行った事のない所でしょうか…さて、若かりし頃に幹事をした旅行ですが…北海道室蘭市にいたころ、ちょうど松山千春が大人気？でありました。私は…今も昔もミーハー的な性格は変わらずで、松山千春のいる十勝の足寄へ行く事にしました。1泊2日だったと思いますが、北海道は広い広い…総勢13名ほどの課内旅行でありましたが、当時は個人の車に分乗して長い時間かかって行ったのを覚えています。十勝ワイン城で牛ステーキを食べ、ご存じの無い方が多数と思いますが松山千春のお父さんの”とかち新聞”を見学し、幸福駅で幸せになれますようにと記念にキップを購入しました。くたくたになって帰りましたが、ウン十年経ってもこうやって覚えているという事は、やはりいい思い出になっているのだと思います。昔は社内旅行等、一緒に働いている人たちで旅行を実施している所はいっぱいあったようですが、今はだんだん減ってきてているのではないか。経済や雇用の変化に伴って行きたくても行けないとか、休日は会社に縛られたくないとか、色々あるのでしょうか。でも、私は可能であればこういった旅行を続けていて欲しいと思っています。それは、参加した人が共有する体験がのちにかけがえのない思い出になることは私が実感しているからです。昨年は季節外れの雪の群馬草津温泉へ…これは想定外でした。草津に着くと、雪がちらほら降り出して翌朝には30センチくらいは積ってしまったのではないか。4月、日中桜を見て夜には温泉で雪見を出来るなんて…最高でした！今年は千葉の鴨川温泉へ行きました。海ほたるを通って、バス中のbingoゲームで特別賞のマザー牧場のパンシージャンプに盛り上がりました。きっと、今回の旅行の事も参加された皆さんのがいい思い出になると信じています。いつまで幹事をさせていただけるかわからいませんが、行った事のないところ、行きたいと思っているところ…まだまだ沢山ありますので、また一緒に記憶に残る思い出を作ることが出来ればと思っています。《庄司》



2014.4 KKS社員旅行

私の同窓会



私の同窓会の一回目は卒業してから20年目の年でした。その頃はまだ何となく名前と顔が一致していました。二回目はその後30年余りが経過して開催されることになりましたので少し不安が過りました。当日の朝、新幹線を乗り継いで岐阜駅に着くと連絡を取っていた友達が駅まで迎えに来てくれていました。なんとか一安心…。この友達こそ保育園から現在に至るまでずっと付き合ってきた無二の親友です。子供や孫の話をしているとあつという間に予定の時刻に。同窓会開催会場のホテルへと足を運びました。ホテルに着いてロビーで一番に目に飛び込んできたのは恩師のお姿でした。少し腰の曲がった先生、昔と変わらず背筋がピンとなっておられる先生。学友たちと話をされている声は少しも変わらないなつかしい声でした。会場内へ入るとクラスごとに設けられた席に着きました。同じクラスであっても名前も出てこない有様でお互いに大爆笑でした。しかし、たとえ名前は出てこなくても顔さえ判れば学生の頃から今までのつまる話が満開です…。「そんな事あったの」「大変だったね」等話出したら止まりません。時間が過ぎていくとクラス毎になっていた席もバラバラになって中には余興を始める人まで出てきました。前回参加できなかった友達ともゆっくりと話が出来て3時間の同窓会はあつという間に過ぎていきました。その後は気の合う友達たちと二次会へ繰り出しましたが昔であれば柳ヶ瀬でしょうか？共有できる話で盛り上がり、その時ばかりはタイムマシンに乗っている気分でした。楽しい話、辛い話、色々な話を聞くことができました。皆それぞれに色々な経験をして人生を送ってきていたのだとつくづく感じました。その夜は友達のお家に泊めてもらえることになり遅くまで語り合い、私の大切な大切な一日となりました。翌日の帰りの新幹線の中で昨日の余韻に浸りながら、幹事の皆さんがあなたが作成してくれた「名簿一覧」をずっと見ていました。全国に散らばっていても「同窓会」に集まって学生の頃に戻り「～くん」「～ちゃん」と呼びあえる時間を過ごすことができる。いくつになっても…あと何回開催できるかわからないですが…その時はまた飛んで行きたいです。《鈴木》

ミツバチの話 Part3

皆様いかがお過ごでしょうか？だんだんと暑い日が増えてきましたね。「ミツバチのお話」も3回目になりました。そろそろネタ切れかもと思いつつ…今回は「ハチミツが甘い訳」と題してお話しします。ミツバチ達はもつとも近くに群生している花の中で一番甘い蜜を持つ花を選び働きバチが蜜を収集・運搬します。働きバチは蜜を飲み込み巣に戻ると巣にいるミツバチに口移しで集めた蜜を渡します。この時にミツバチの体内にある酵素が混ざります。でもこの状態ではまだ甘いわけではありません。集めた蜜に含まれる水分を飛ばし濃縮作業をし甘くなります。濃縮作業は極めて単純で、巣の中でミツバチ達が羽で蜜を扇ぎ水分を飛ばします。まさに肉体労働。。。ご苦労さまで。そして水分が飛ぶと甘い蜜の出来あがりというわけです。私たちの口に入る前にミツバチ達の口に入っているなんて…ちょっと複雑…ちなみにミツバチが一生で集める蜜はたったティースpoon1杯！それを思うと大切に味合わないといけませんね。皆様もハチミツを食べる時にはちょっとだけミツバチ達に感謝をしてみては？次回のミツバチのお話は…何をお話しするかはお楽しみということで！！お題は「蜜」だけに「ヒミツ」にしておきます。ではまたフルヤでした。《古谷》



編集後記

▼早いもので前回のKKSメールから6カ月が経過し今回で第7号を迎える事になりました。お客様の中には楽しみに待つて下さる方もいると聞き執筆陣も気合が入っております。この号が皆様のお手元に届くころは梅雨入りしている頃でしょうか、梅雨も明けて夏に入っているでしょうか？▼夏になると毎日のように耳にするのが<「熱中症」という単語。昔はあまり聞かなかつた言葉だと調べてみたところ、1990年代から関係各学会で呼びかけられ指針が決まったそうです。熱中症対策グッズも色々と発売されていて熱中症対策用の塩飴や保冷剤入りのスカーフ、ヘルメットに取り付ける専用の冷却パッドなども販売しております。インターネットなどで調べると昔では考えつかない商品が多くあり、時代に合ったものが流通していくんだなと感じました▼梅雨が明けて7月になると弊社は43期を迎えることになります。建築、設備業界も日々進歩しており、それこそ創業当時にはありえなかつたようなシステムが開発されております。日々努力している次第です。ただお客様に対する感謝の姿勢は創業当時から変わらず持ち続けていきたいと思っておりますので、今後もご愛顧くださいますよう宜しくお願ひ致します▼今年の夏も東日本は例年並みとの予想なので、また厳しい夏となりそうです。皆様体調にはくれぐれもお気を付けてお過ごしください《黒瀧》